

<テーマの設定理由> テーマ：ボール遊び（中当て）

理由 ：一人一人がボールに触れることを継続的に楽しみ、積極的にボール遊びを楽しむ姿がある。
 自然と中当てを楽しむ姿が出て来たので、室内と戸外での遊びの違いやボールの素材の違いを楽しめるようにする。

<活動スケジュール>

室内での中当て、戸外の広い空間での中当てを楽しむ。またボールの素材を変えて遊べるように準備をして公園へ出かける。

<環境をデザインする・探求活動の実践>

室内では自由にボールを持ち、投げたり転がしたり、キャッチする事を楽しんでいた。初めはゴムまりボールを使い遊んだ。子どもたちの手に持ちやすく片手で投げたり、床に突いて弾ませたりして楽しんでいた。強く打つと勢い良く跳ね返ってくるボールの動きを楽しみながら次第に友だちとキャッチボールや投げ合って遊ぶ姿が見られ、数人で遊び合う楽しさを味わった。



素材の違うドッチボール用のボールを使うと、重さや手触りの違いに気が付き「かたい」「痛い」「重い」という発見があり、友だちに知らせたりボールを見比べたりする姿があった。同じように投げても思うように飛ばず、“なんで？”という表情が見られ、両手で上に向かって投げる遊びが多くなった。



子どもたちから「戸外にボールを持って行きたい」という声があり、持って行くと室内より転がったボールを夢中で追いかけたり、ダイナミックに体を動かしていた。普段は投げることが多いが、蹴って楽しむ姿も見られた。数人でボールの追いかっこを楽しんでいくうちに、仲間を集めて中当てが始まった。



「いくぞ!」「えい!」と掛け声をかけて相手に投げたり転がったボールを追いかけて取りに行くと、そこでボールの取り合いがある。環境や場所によって、遊び方が変わると感じた。



<振り返り>

- ・素材の違いに気が付き、重さや跳ね方等で遊び方に変化が見られた。見えないところからボールが出てくる遊びやキャッチボール等、友だちとより関わって遊ぶ姿が多く見られ、ボールの動き等を発見し友達と共有しながら楽しむ姿があった。
- ・戸外に場所を変えたことで空間が広くなり、動きが大きくなる。室内よりも一層、体を動かして友だちと遊ぶ姿が見られた。
- ・様々な遊びからボールの重さや大きさの違いに気が付き、重さ比べなどをしていた。
子どもたちからの発見も多く、色々な素材のボールを準備したり、空間を変えることで、子どもたちからの色々な発見があった。場所や環境によって友だちとの遊び方や関わりが変わる姿が面白いと思った。
より遊びを発展させていけるように、工夫をしていきたい。